

夏の夜はまだ宵なが
くさくさ

明けぬるよ雲の
いづれに
つよす

月やどるらむ

中一ニエ

夏の夜は、まだ宵のうちだと思っているのに明けてしまったが、
(こんなにも早く夜明けが来れば、月はまだ空に残っているだろうか)
いったい月は雲のどの辺りに宿をとっているのだろうか。

(百人一首 三六番 清原深養父)